

子供企画型 レポート

テーマ みんなの開校150周年記念コンサートをつくる！

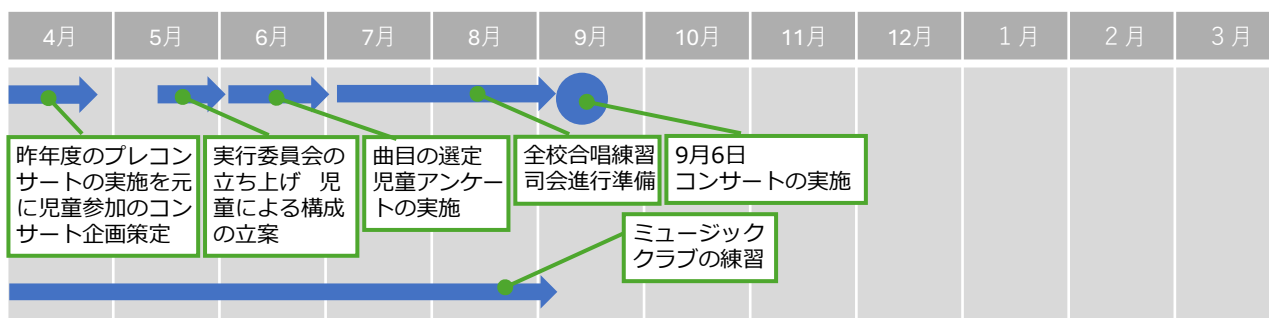
目黒区立菅刈小学校

教育計画上のねらい

開校150周年を迎えるにあたり、東京音楽大学と連携し、児童を主体としたコンサートの企画・開催を通して、児童、教職員に加えて保護者や地域と以下の4つの理念を共有し、実現を図ることをねらいとした。

- ①児童の愛校心を高める
- ②児童が地域を愛する心を育む
- ③児童に未来への夢と希望を抱かせる
- ④児童の一生の思い出となる体験を創出する

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「ミュージッククラブの練習をTCMオーケストラアカデミーのみなさんの前で披露し、『喜びの歌』を高く評価いただき、選曲に盛り込むことができた。」・「コンサートの司会は難しく、緊張したが、東京音楽大学の方がサポートしてくれたので楽しくやりきることができた。貴重な経験だったので、また機会があったらやってみたい。」

参加した
児童・生徒

「オーケストラを聴き、今までよりもっと音楽に興味をもつことができました。」・「私も将来、音大に入ってトランペットをやりたいです。」・「TCMオーケストラアカデミーの皆さんの演奏を間近で聴き、さらに一緒に演奏させていただくという貴重な体験ができ、一生忘れることのない思い出をつくることができました。」

取組・実践



プログラム進行は児童

コンサート全体の構成は、校長・音楽科担当教諭が、児童の意見を採り入れながら決定した。当日の進行は6年生の児童が東京音楽大学の方の支援を受けながら担当した。児童は、事前に進行台本を作成し、当日は大きな舞台上に緊張しながらも、全校に呼びかけるように、丁寧に分かりやすい進行を心がけていた。



児童希望の曲構成

昨年度実施したプレコンサートを元に、取り入れたい曲目のアンケートを実施し、児童の意見を反映させ今回の構成を決定した。東京音楽大学の助言も受け、全体構成の中で、それぞれの楽器の特徴や音色にも着目できるような演出をしていただいた。児童アンケートでは、オフフェンバックの「天国と地獄」が一番の人気曲であった。



児童が演奏に参加

本校の管楽器クラブ「ミュージッククラブ」が演奏に参加した。昨年度から練習を重ね、今年度新たに入学した児童も含めた40名がオーケストラと一緒に、コンサート後半の全4曲を演奏した。コンサート直前の通し練習も含め、プロの演奏を間近に感じつつ、楽しみながら、精一杯の演奏をしていた。演奏した児童にとっては、深く心に残る経験となった。



全校児童による合唱

オーケストラと本校ミュージッククラブの合同演奏を伴奏に、全校児童が「校歌」と本校の愛唱歌である「菅刈フォーエバー」を合唱した。事前の練習をきちんと行ったことで、全員が自信をもち心を込めて歌うことができた。別室で鑑賞していた保護者からも、「感動した」との感想を数多くいただいた。

成果

- 昨年度に教員主導で実施したプレコンサートを発展させ、今年度は児童の意見や活動を主体とした取組の充実を図った。その結果、児童が「お客様」として参加するのではなく、「自分たちのコンサート」として楽しむことができていた。
- 「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の予算を活用することで東京音楽大学と連携した取組を実施することができた。さらに、本活動を通して保護者や地域との協働体制が一層強まり、東京音楽大学との継続的な連携につながる手応えも得られた。